

第4節 社会教育を充実する

現状と課題

教育水準の向上や自由時間の増大などを背景として、心の豊かさや自分らしさの発見など豊かな市民生活を送ることへのニーズが高まりをみせているなか、社会教育は生涯を通じて、市民の多様な学習意欲を充たし、市民自らの資質を向上させていくことから行政が積極的にその機会や場の提供に努めることが求められています。

また、現在、国際化、高度情報化、少子高齢化など社会経済情勢の著しい変化の中で、さまざまな教育改革が進められており、大きな転換期を迎えています。このような時代の変化のなかで、とりわけ青少年の社会性や豊かな人間性を育むため、家庭・地域社会・学校が連携や教育力の向上を目的に、図書館などの社会教育事業の拡充が求められています。

さらに、個人の尊厳と人権が尊重される社会の実現や、生涯にわたり楽しめる文化・スポーツ活動を通じた健康や生きがいづくりの取り組みが求められています。

基本方針

市民が生涯にわたる多様な学習活動を主体的に行える生涯学習社会を実現するため、幅広い分野の生涯学習事業が推進されるまちをめざします。

市民の自発的な学習活動の促進に努めるとともに、国際理解、環境、情報や人権などの現代的課題に関する学習活動が推進されるまちをめざします。

まちづくり指標

まちづくり指標名	説明	単位	現状値	5年後の	10年後の	めざすべき
				目標	目標	
社会教育活動団体数	社会教育関係団体の登録数	団体	877	1,069	1,364	
生涯学習事業への参加者数	各種講座の延べ参加者数	人	3,249	4,092	5,224	
市立図書館・コミュニティセンター図書室における市民一人あたり図書等の貸出点数	総貸出点数/人口	点	6.3	7.3	7.8	

主な施策の展開

(1) 生涯学習社会の実現

幅広い分野を視野に入れた生涯学習事業の計画的な推進を図ります。

また、市民の自発的な学習活動の促進に努め、国際理解、環境、情報や人権などの現代的課題に関する学習活動を推進します。さらに、社会教育関係団体の自主性を尊重しながら、活動の活性化の促進に努めるとともに、一層の連携・協力を進めます。

(2) 地域社会の教育力の向上

地域社会の教育力の向上を図るための学習活動を推進するとともに、学校週5日制の趣旨を踏まえ、学校および地域社会と連携した家庭教育の充実に努めます。地域でのさまざまな体験の機会を拡充するとともに、障害のある子どもも、共に参加できるように努めます。さらに、その活動を通し、青少年の健全育成に努めるとともに、地域の交流を深め、誰もが安心・安全に暮らせる地域づくりを推進します。

また、各種講座の充実に努めるとともに、学習情報の提供を推進します。

(3) 図書館等の充実

図書館利用者へのサービスを充実するため、インターネットを利用した蔵書検索・予約や京都府図書館総合目録ネットワークへの完全参加など、より市民に利用しやすいシステムとなるよう検討するとともに、図書の蔵書20万冊を早期に達成します。また、学校やボランティアグループなどとの連携をより一層深めるとともに、子どもの読書推進計画を策定するなど、子どもの読書活動を推進します。

また公民館については、その在り方についての検討を行います。

市民まちづくりワークショップからの提言

市民の役割(例示)

各種講座、セミナーや地域で開催される行事などの学習機会を積極的に活用し、自ら意欲的に学習に取り組む。

【用語説明】

京都府図書館目録総合ネットワーク：京都府内の図書館や読書施設などの「図書・雑誌・新聞データ」を集めた書誌・所蔵情報データベース。府内の図書館など（ネットワークに参加し、データ提供している館）の所蔵資料を一括して検索することができる。